

平成28年度版

(平成27年度実績)

鳥取市の環境

資料編

鳥取市環境下水道部 生活環境課

目 次

資料編

I 鳥取市の自然

1 現状	1
2 指定状況	5

II 鳥取市の環境

1 公共用水域の採水地点	9
2 河川の状況	10
3 湖沼の状況	16
4 大気汚染の状況	20
5 騒音の状況	22
6 振動の状況	25
7 悪臭の状況	26
8 土壌汚染の状況	27
9 公害苦情の状況	27

自然保護及び環境保全条例	28
--------------	-------	----

自然保護及び環境保全条例施行規則	33
------------------	-------	----

I 鳥取市の自然

1 現状

本市は日本海に面し、国立公園鳥取砂丘を始め、湖山池、多鯨ケ池、水尻池の三つの池、南北を貫流する千代川、標高 1,000mを超える山地など、多様で豊かな自然に恵まれています。

本市独自の自然環境調査は実施されていませんが、鳥取県などにより数次にわたり各種調査が行われています。その中で植生など本市関係のものは、次のとおりとなっています。

(1) 植生

① 照葉樹帯域

標高 400～500mあたりまで、タブノキ、スダジイ、シラカシなどの照葉樹が見られますが、ほとんどの地域で人の手が入り、住宅地、農林業地として利用され、自然林は神社の森や急傾斜地などにわずかに残っているにすぎません。

沿岸には、千代川の河口を中心に海岸砂丘が発達し、特に、鳥取砂丘には幅 1.2km に及ぶ砂丘が保全され、ハマゴウ、ウンラン、コウボウムギなど多様な砂丘植物が見られますが、砂の移動が止まり、帰化植物の進入など草原化が進んでいます。

② ブナ帯域

標高 500m以上がブナ帯域となりますが、大半がスギやヒノキの植林地やアカマツ、クスギ、コナラなどの二次林となっています。

河原町から佐治町にかけての三国山塊や国府町の扇ノ山の一部には、かなりの規模のブナ林が残っています。

(2) すぐれた自然

鳥取県自然環境調査研究会の調査（平成 3 年）の結果、本市におけるすぐれた自然として次のものがあげられています。

【地形・地質】

※1 「鳥取県のすぐれた自然 地形・地質編」より

○ 火山とその山地

名 称	位 置	選定の理由
扇ノ山	国府町上地ほか	第四紀更新世の玄武岩質火山群
河合谷高原	国府町雨滝ほか	溶岩流の台地

○ 非火山山地

名 称	位 置	選定の理由
駟 馳 山	福部町岩戸ほか	海岸の独立峰、波食棚・海食崖の発達した岩石海岸
久 松 山	東町ほか	花崗岩の孤立峰と山城の跡
因 幡 三 山	桜谷ほか	孤立丘（面影山、今木山、甑山）
靈 石 山	河原町稻常ほか	メサ型地形
三角山（頭巾山）	用瀬町赤波ほか	急峻な傾斜をもつ山地
波多ノ台（黒岩高原）	用瀬町江波ほか	玄武岩溶岩流のつくる平坦な高原
鷲 峰 山	鹿野町鷲峯ほか	孤立峰
吉岡・鹿野・岩坪活断層	市南西部	鳥取県で顕著な活断層

○ 河川（峡谷・滝・段丘）・湖沼

名 称	位 置	選定の理由
雨 滝	国府町雨滝	扇ノ山麓の滝
雨 滝 峡 谷	国府町雨滝	峡谷
安 蔵 川 溪 谷	用瀬町屋住ほか	花崗岩に形成された溪谷
佐 治 川 溪 谷	佐治町	溪谷
山 王 滝	佐治町中	滝
三 滝 溪 谷	河原町北村	千畳滝、夫婦滝などの多くの滝と急流河川
岩坪のおう穴	岩坪	おう穴
多 鯰 ケ 池	浜坂、福部町湯山	砂丘と成因的に関連する池
湖 山 池	湖山町ほか	面積の大きな潟湖
青 島	高住	離れ島
鳴 滝	青谷町鳴滝	滝

※ほかに、赤波川溪谷おう穴群（用瀬町）

○ 海岸・砂丘

名 称	位 置	選定の理由
鳥 取 砂 丘	浜坂ほか	バルハン型の凹地が発達した海岸砂丘。火山灰により古砂丘、新砂丘に2分される。
白 兎 海 岸	白兎	因幡の伝説で知られる砂浜海岸、波食棚
長 尾 鼻	青谷町青谷ほか	広い岩棚をもつ海食崖
鳴 り 砂	小沢見、水尻、船磯、青谷、井出ヶ浜、みなせ浜等の海岸	清浄な砂粒からなる砂浜海岸

○ 地質（先新第三系・新第三系）

名 称	位 置	選定の理由
三郡変成岩中の枕状溶岩	河原町和奈見ほか	三郡変成岩中にみられる枕状溶岩：海底火山活動の証拠
郡家礫岩層	国府町中河原ほか	鳥取層群の基底礫岩層
河原火砕岩層	河原町河原ほか	河原町を模式地とする鳥取層群の火砕岩層
円通寺礫岩砂岩層	円通寺ほか	河原町を模式地とする鳥取層群中部累層の基底礫岩層
普含寺泥岩層	国府町拾石ほか	貴重で豊富な化石を産する鳥取層群の代表的地層
小田安山岩層	国府町木原ほか	鳥取層群の一部層
荒金火砕岩層	国府町雨滝ほか	鳥取層群の火砕岩層
摩尼参道の柱状節理	覚寺	安山岩の柱状節理

○ 化石

名 称	位 置	選定の理由
上地の動物化石	国府町上地	鳥取層群岩美累層普含寺泥岩層の模式地と海生動物化石の産出地
辰巳峠層の植物化石	佐治町栃原	西日本における中新世後期を代表する化石植物群とその地層（県指定天然記念物）
宝木亜炭層の昆虫化石	気高町宝木	白兔礫層中の亜炭層とネクイハムシ亜科を主とする昆虫化石

○ 岩石・鉱物・鉱床

名 称	位 置	選定の理由
佐治川石	佐治町加瀬木ほか	三郡変成帯の緑色岩で鑑賞石
山口の“やしろみかげ”	用瀬町安蔵	節理の少ない良質の石材で、県内最古期の花崗岩の一つである用瀬花崗岩
南田石と円護寺石	福部町南田 円護寺・覚寺	緑色凝灰岩で、加工しやすく火に強い石材

○ 温泉・湧水

名 称	位 置	選定の理由
吉岡温泉	吉岡温泉町	県庁所在地にある単純透明泉
布勢の清水	気高町殿	湧泉、因伯の名水

※ほかに、鳥取温泉、浜村温泉、鹿野温泉

【すぐれた自然：植物】

※2 「鳥取県のすぐれた自然 植物編」より

○ 社叢

名 称	位 置	選定の理由
さかだに 坂谷神社社叢	福部町栗谷	スダジイが優占する自然度の高い照葉樹林（県指定天然記念物）
のうだ 南田神社社叢	福部町南田	スダジイ－カシ型の照葉樹林
たねが いけ べんざいてん 多鯰ヶ池の弁財天社叢	福部町湯山	小規模であるが、砂丘の歴史に関わる自然度の高いスダジイ林
たかおか 高岡神社社叢	国府町高岡	ヤブツバキおよびスダジイの照葉樹林（県指定天然記念物）
う べ 宇倍神社社叢	国府町宮下	比較的に希少なシラカシ林を主体とするすぐれた照葉樹林
しいだに 椎谷神社社叢	覚寺	ホソバオオアリドオシの群生するスダジイ林
おうちだに 樗谿神社社叢	上町	大規模なスダジイ林と特異なモミ林（市指定天然記念物）
おおのみすくねのみこと 大野見宿禰命神社社叢	徳尾	低地残丘のすぐれた照葉樹林（国指定天然記念物）

くらだ 倉田八幡宮社叢	馬場	平野部低湿地の代表的照葉樹林 (国指定天然記念物)
いのみぬ 意上奴神社社叢	香取	巨木の多い多彩な林相の県下最大規模の照葉樹林 (県指定天然記念物・県自然環境保全地域)
ふしの 伏野神社社叢	伏野	クロキの多い海岸地域照葉樹林
はくと 白兔神社社叢	白兔	白兔伝説にまつわる海岸地域照葉樹林 (国指定天然記念物)
みくま 御熊神社社叢	御熊	巨木の多いタブノキーシラカシ照葉樹林
やはぎ 矢矯神社社叢	矢矯	タブノキとウラジログシの巨木が多い照葉樹林 (県指定天然記念物)
まつがみ 松上神社社叢	松上	天然記念物のサカキ樹林を含む広域自然林 (国指定天然記念物・県自然環境保全地域)
権現の森 (高山神社社叢)	河原町北村	移行帯林として落葉紅葉樹林帯要素が混生する照葉樹林 (県自然環境保全地域)
いぬやま 犬山神社社叢	用瀬町宮原	希少種のイヌブナやツクバネガシが生育する照葉樹林 (県指定天然記念物)
かなやま 金山神社社叢	佐治町余戸	山地型の代表的な照葉樹林
あいや 相屋神社社叢	青谷町青谷	スダジイの大木が多く典型的な照葉樹林 (県指定天然記念物)
じゅうほう 鷲峰神社社叢	鹿野町鷲峰	スダジイが主体のすぐれた照葉樹林
もうけ 茂宇気神社社叢	鹿野町河内	カゴノキやウラジログシなどの巨木が多いすぐれた照葉樹林 (県自然環境保全地域)

○ 森林

名 称	位 置	選定の理由
雨滝周辺の自然林	国府町雨滝	溪谷林とブナ林
扇ノ山のブナ林	国府町上地ほか	鳥取県東縁部のブナ林
合せヶ谷スリバチのクロマツ林	浜坂	鳥取砂丘地内凹地の歴史的クロマツ自然林
久松山の城跡自然林	東町ほか	アラカシなど特異種を含むスダジイ林およびタブノキ林
船磯のスダジイ林	気高町八束水	スダジイの大木が多い海岸急斜面の照葉樹林
青谷町飯盛山のブナ林	青谷町桑原	低標高山地に発達する貴重な冷温帯自然林
鷲峰山のブナ林	鹿野町鷲峰ほか	植物相が豊富なブナ林
三滝溪の溪谷林	河原町北村	冷温帯溪谷林とブナ林
高鉢山・北谷の自然林	佐治町尾際	原生的自然林としてのブナ林と溪谷林
山王滝周辺の自然林	佐治町中ほか	暖帯常緑樹林帯・冷温帯落葉広葉樹林の移行帯的自然林

三国山のブナ林	佐治町中ほか	自然維持林に指定されたブナ林
---------	--------	----------------

○ 低木林・草原

名 称	位 置	選定の理由
鳥取砂丘の植生	浜坂ほか	日本最大規模の海岸砂丘における砂丘植生
八本越三原台のススキ草原	佐治町余戸	中国脊梁山地直下の高原に広がる特異なススキ草原

○ 湿原・湿地林

名 称	位 置	選定の理由
菅野湿原	国府町菅野	低標高地のミズゴケ湿原 (県指定天然記念物、県自然環境保全地域)
波多ノ台(黒岩高原)の草原	用瀬町江波ほか	ミズゴケ湿原のあるススキ草原

○ 貴重植物群生地

名 称	位 置	選定の理由
布勢平神社のバイカモ水生群落	気高町殿	冷涼な湧水池の水生植物群落 (県自然環境保全地域)

【すぐれた自然：動物】

※3 「鳥取県のすぐれた自然 動物編」より

○ 重要生息地域

名 称	位 置	選定の理由
扇ノ山・雨滝・広留野・河合谷高原	国府町雨滝ほか	豊富な動物相、山地性希少動物の分布、環境省(1991)絶滅危惧種などの重要生息地
那岐山とその周辺の山地(波多ノ台・籠山・牛臥山)	用瀬町屋住ほか	山地草原性昆虫類、亜高山性の鳥類の生息地として、また、数種の森林性の動物の交雑帯あるいは分布境界が集中して見られる地域として重要
鳥取砂丘	浜坂ほか	砂丘に特徴的な動物が生存
久松山とその一帯	東町ほか	各種の動物の生息地として貴重な地域 繁殖地・渡来地など生態的にすぐれている地域
高鉢山・高山・三滝溪	河原町北村ほか	山地性動物・南方系動物の分布、豊富な動物相
水尻池	気高町奥沢見	オオハクチョウなどの渡来越冬地およびカモ類などの生息地
鷲峰山	鹿野町鷲峯ほか	貴重な種を含む各種の動物の生息地

2 指定状況

本市には、優れた自然を保護するため、自然公園法を始め、鳥取県及び本市の条例等により指定されている地域があります。

(1) 鳥取市自然保護及び環境保全条例による指定

① 自然緑地保護地区

自然を残すため必要な地域として、久松山一帯を指定しています。

② 動植物保護地区

野生動植物を保護するため必要な地区として、次のものを指定しています。

【動植物保護地区】

名 称	保 護 地 区
カジカ (カエル)	野坂川上流 (河内～安蔵)
シャクナゲ	安蔵一帯
ヒメハルゼミ	大和佐美命神社 (上砂見)、高路神社、河内神社、小原神社の各社叢

③ 保存樹木 (名木・古木)

現在、名木や古木を保存すべき樹木、樹林として次のとおり 24 か所指定しています。

【保存樹木 (名木・古木)】

名 称	樹 種	所 在 地	指定年度
男松・女松 (真教寺)	マツ	戎町	昭和 53 年度
八幡宮参道松並木	マツ	馬場	昭和 53 年度
賀露神社社叢	マツ	賀露町北	昭和 53 年度
下味野神社の榎	エノキ	下味野	昭和 53 年度
河内神社社叢	カゴノキ	河内	昭和 53 年度
浄源寺のモッコク	モッコク	上原	昭和 53 年度
梨の親木	ナシ	桂見	昭和 53 年度
聖神社社叢	イチョウ、ケヤキ	行徳	昭和 53 年度
長田神社のケヤキ	ケヤキ	東町	昭和 53 年度
国安稲荷神社のシイ	シイ	国安	昭和 53 年度
荒神棕	ムク	横枕	昭和 53 年度
卯垣神社社叢	シイ、スギ	卯垣	昭和 53 年度
八幡宮社叢	ケヤキ	古海	昭和 53 年度
渡辺家の藤と椎の木	フジ、スタジイ	越路	昭和 62 年度
正福寺の銀杏と五葉の松	イチョウ、ヒメコマツ	河内	昭和 62 年度
玉屋神社の大杉	スギ	上味野	昭和 62 年度
甲山神社のタブノキ	タブノキ	里仁	昭和 62 年度
奈佐日本之助の墓のタブノキ	タブノキ	浜坂	昭和 62 年度
天然庵のイヌマキ	イヌマキ	円護寺	昭和 62 年度
安長堤防林	タブノキほか	安長	平成 4 年度
一里松	マツ	浜坂	平成 13 年度
二ノ丸の黒松	マツ	鹿野町鹿野	平成 18 年度
幸盛寺の大銀杏	イチョウ	鹿野町鹿野	平成 18 年度
南田神社社叢	スタジイほか	福部町南田	平成 18 年度

(2) 自然公園法等による指定

本市では、山陰海岸国立公園、氷ノ山後山那岐山国定公園、西因幡県立自然公園が自然公園として指定されています。

(3) 鳥取県自然環境保全条例による指定

県内におけるすぐれた自然環境を保全するため、県自然環境保全地域として本市においては次のものが指定されています。

【県自然環境保全地域】

地域名	指 定 理 由
菅野	扇ノ山火山溶岩台地上にある高層湿原で、オオミズゴケ等の湿原植物が群生する貴重な植物の自生地。
香取	スダジイ、タブノキ、ヤブツバキやウラジロガシなどの巨樹が立ち並び、優れた天然林の様相を示す。
松上	スダジイ群落や樹齢の高い高木が立ち並び、原始的で極相的な林相を示す森林。
佐治	河川争奪により河岸段丘や急崖地形が発達し、各所に穿入蛇行地形やV字谷が見られる。緑色千枚岩の風化や浸食によって形成された佐治石が分布。
洗足山	常緑広葉樹林帯から落葉広葉樹林帯への移行帯に位置し、尾根部の岩石地にはヒノキ、ヒメコマツが、谷部に近い岩石地にはシャクナゲが自生。
北村権現	落葉広葉樹のイヌシデ等や、常緑広葉樹のヤブツバキ、ウラジロガシの高木が林立する優れた天然林。特に県内でも比較的稀なアサダを優占種とする特異な群落。
気高殿	タブノキを中心とする胸高 100 cm 以上の大径木の照葉樹林。湧水池一带にバイカモなどの水草が自生。
鹿野河内	スダジイ、ウラジロガシ、タブノキ等の巨樹が優占する極相林。県内では比較的希少なカゴノキ等も混在し、優れた自然環境を形成。

(4) 鳥獣保護区等の設定

野生鳥獣の保護や繁殖を図るため、保護区や銃猟禁止区域等が設定されています。

【鳥獣保護区】

名 称	面 積	存 続 期 間	
鳥 獣 保 護 区	岩 美	2,590ha	平成 23 年 11 月 1 日 ～ 平成 33 年 10 月 31 日
	扇ノ山	1,661ha	平成 24 年 11 月 1 日 ～ 平成 34 年 10 月 31 日
	久松山	460ha	平成 22 年 11 月 1 日 ～ 平成 32 年 10 月 31 日
	千代川流域	641ha	平成 18 年 11 月 1 日 ～ 平成 28 年 10 月 31 日
	湖山池	1,160ha	平成 22 年 11 月 1 日 ～ 平成 32 年 10 月 31 日
	鷲峰山	893ha	平成 25 年 11 月 1 日 ～ 平成 35 年 10 月 31 日
	高鉢山	302ha	平成 25 年 11 月 1 日 ～ 平成 35 年 10 月 31 日
	布勢桂見	235ha	平成 24 年 11 月 1 日 ～ 平成 34 年 10 月 31 日

(5) その他の指定

① ふるさといきものの里の指定

環境庁は、身近な自然の象徴である小動物とその生息環境の保全や回復を図る地域住民の努力を顕彰するため、「ふるさといきものの里」として各地の活動を選定しました。

本市では次のものが選定されています。

【ふるさといきものの里】（平成元年4月選定）

名 称	概 要
鳥取市ホテルの里 （鳥取市上町・樗谿公園）	樗谿ホテルの会がホテル、カワニナの放流と生息地の環境保全活動を実施

② 因伯の名水

鳥取県は、泉や良好なままに保たれている水辺を保護し、水質保全への認識を深めることを目的に「因伯の名水」として県内の26か所が選定され、このうち本市では次のものが選定されています。

【因伯の名水】（昭和60年6月選定、平成2年12月、25年8月追加選定）

名 称	概 要
[暮らしの中の泉] 布勢の清水（気高町殿）	「布勢平神社」の境内の岩の下から清冷な水が湧き出しており、今も地域の生活用水として活用
[ふれあいの水辺] 多鯰ヶ池（浜坂、福部町湯山）	鳥取砂丘に近く、ボート遊び、魚釣りなど多くの人に憩いの場として親しまれている伝説の池
[ふれあいの水辺] 千代川（用瀬町水域）	千代川の清流が岸边を洗うこの水域は、江戸時代から続いている流しびなの里として町民の心の清流であり、釣り人、ドライバーの憩いの場
[ふれあいの水辺] 山王滝水域（佐治町中）	山王滝を中心とした自然性豊かな水辺には、キャンプ場、遊歩道などを整備
[ふるさとの溪流] 雨滝溪谷（国府町雨滝）	水量豊富な滝を有する溪谷は景観がすばらしく、自然性に富み、キャンプ、避暑地紅葉など訪れる人が多い
[ふるさとの溪流] 三滝溪（河原町北村）	変化に富んだ滝の数々、絶壁と奇岩の間を流れる美しい溪流は、四季を通じて人々に親しまれている
[ふるさとの溪流] 不動谷川流域（青谷町田原谷）	趣を異にした三つの美しい滝を有する自然性豊かな溪流であり、新緑から紅葉までキャンプ、ハイキングに訪れる人が多い
[ふるさとの溪流] 赤波川溪谷おう穴群（用瀬町赤波）	花崗岩が、小石などに削られて、おう穴、かめ穴、ポットホールなどと呼ばれる窪みを形成
[暮らしの中の泉] お地藏さんの水（気高町睦逢）	山裾に安置されている子宝のお地藏さんの脇から、年中絶えることなく清水が流れている

③ 平成の名水百選

環境省は、平成20年6月に、水環境保全の一層の推進を図ることを目的に、地域の生活に溶け込んでいる清澄な水や水環境の中で、特に、地域住民等による主体的かつ持続的な水環境の保全活動がおこなわれているものを「平成の名水百選」として選定しました。

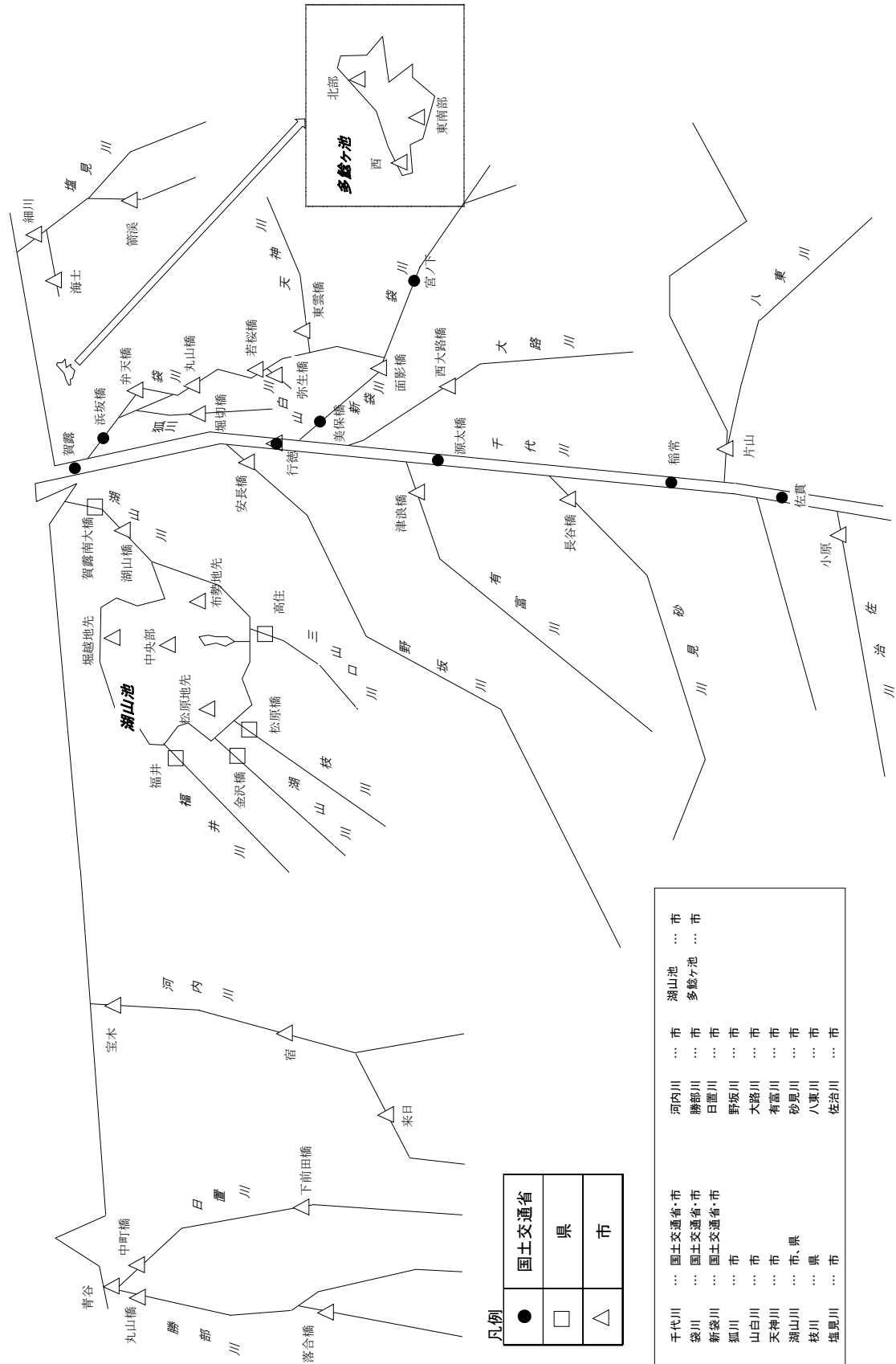
このうち本市では「布勢の清水」（気高町殿）が選定されました。

参考文献

- ※1 「鳥取県のすぐれた自然 地形・地質編」 豊島吉則、赤木三郎、岡田昭明編 鳥取県衛生環境部自然保護課 1993
- ※2 「鳥取県のすぐれた自然 植物編」 清水寛厚編 鳥取県衛生環境部自然保護課 1993
- ※3 「鳥取県のすぐれた自然 動物編」 江原昭三、鶴崎展巨編 鳥取県衛生環境部自然保護課 1993

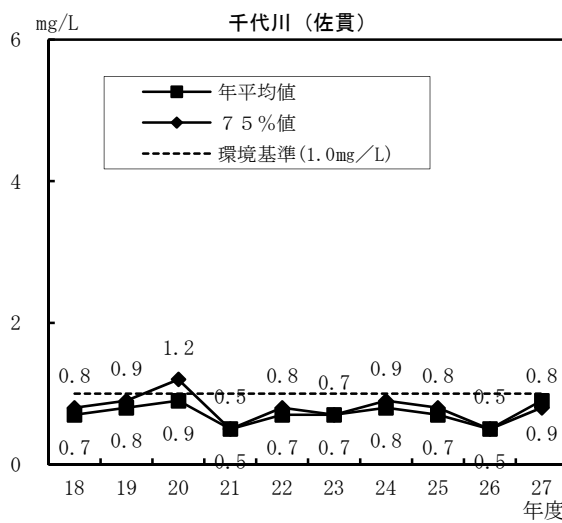
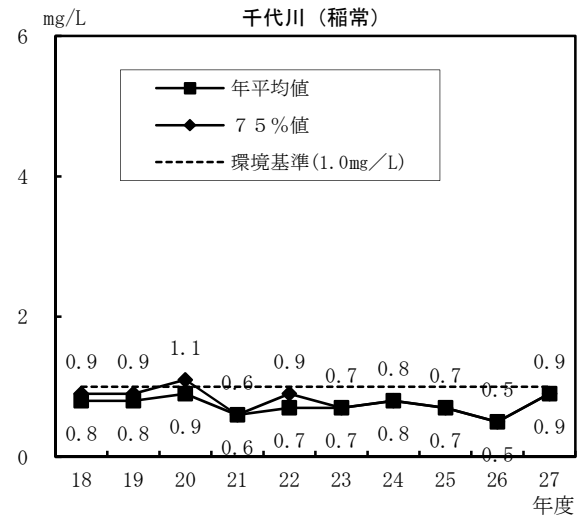
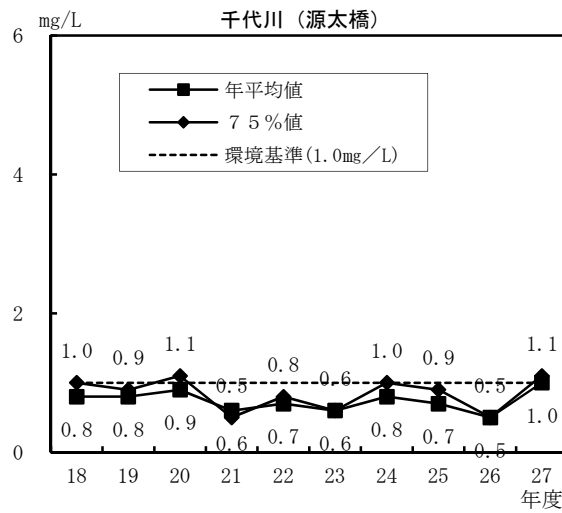
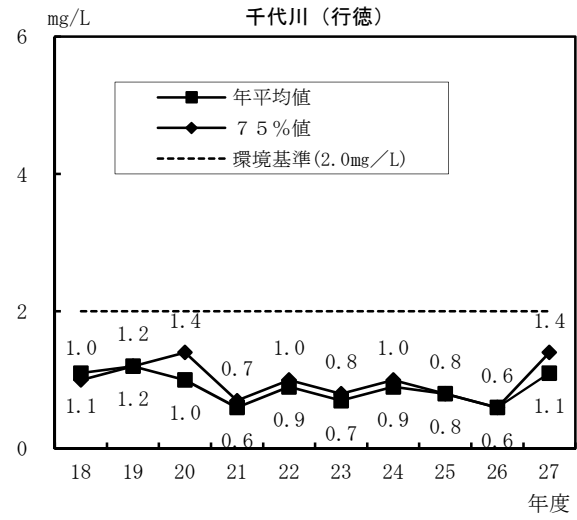
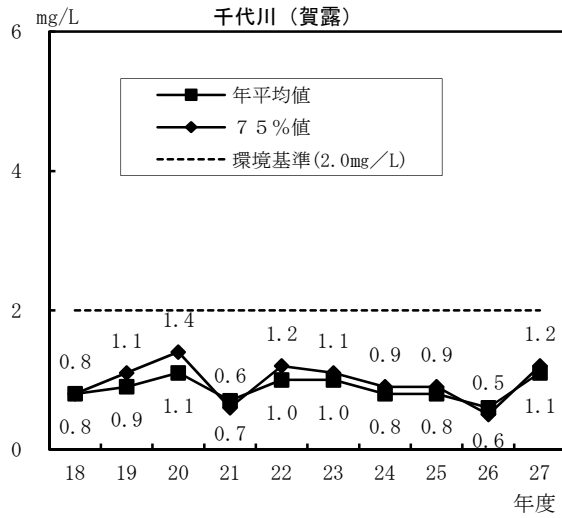
II 鳥取市の環境

1 公共用水域の採水地点 (H27 年度)

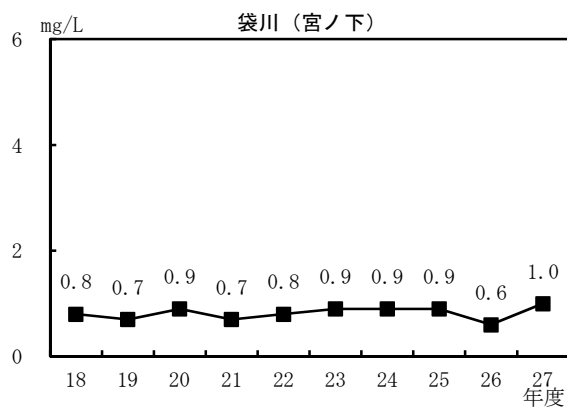
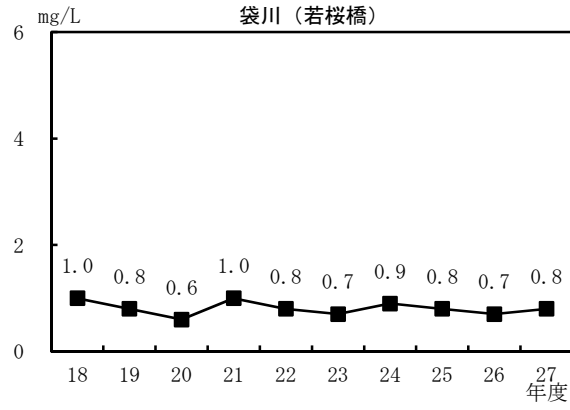
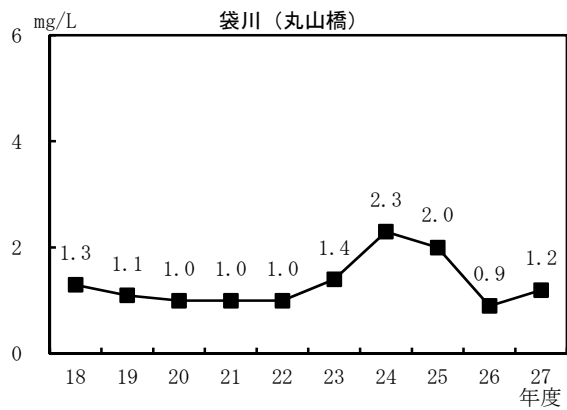
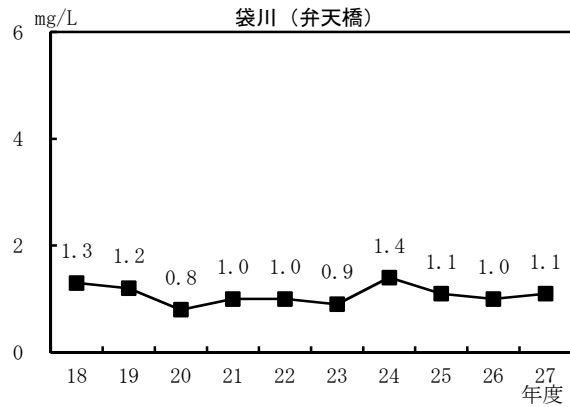
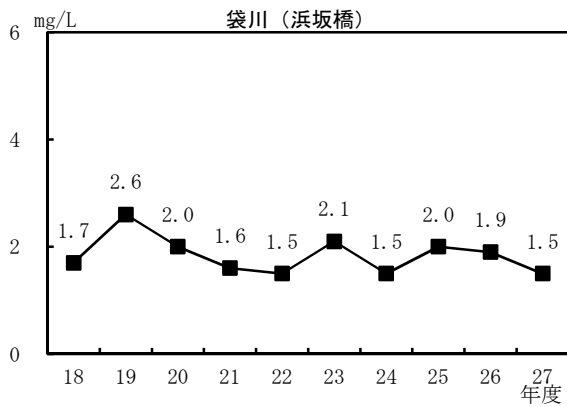


2 河川の状況

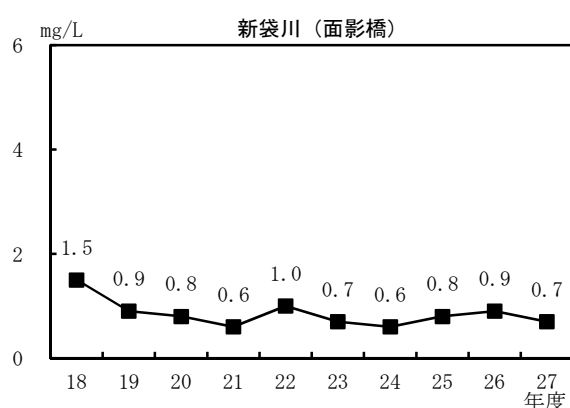
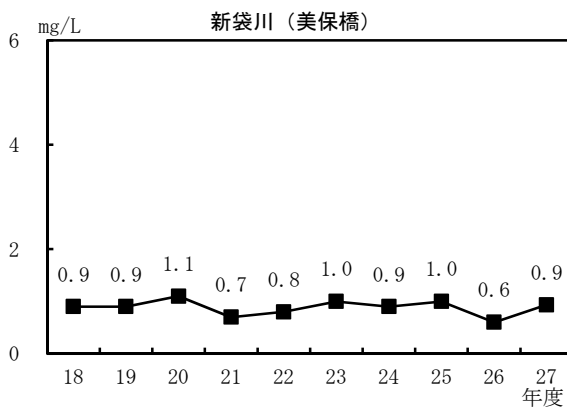
(1) 千代川 (BOD 単位mg/L)



(2) 袋川 (BOD (年平均値) 単位mg/L)

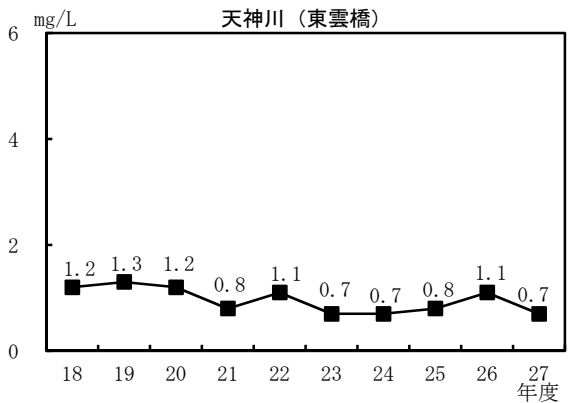
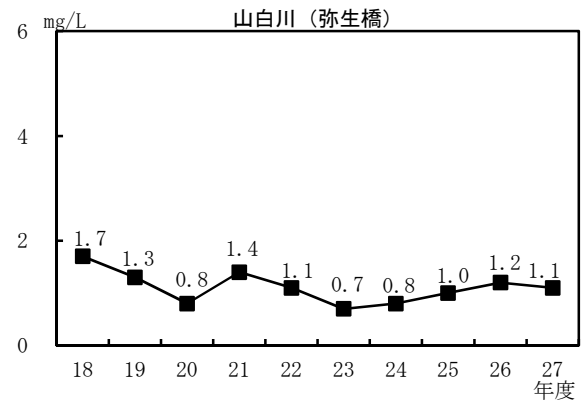
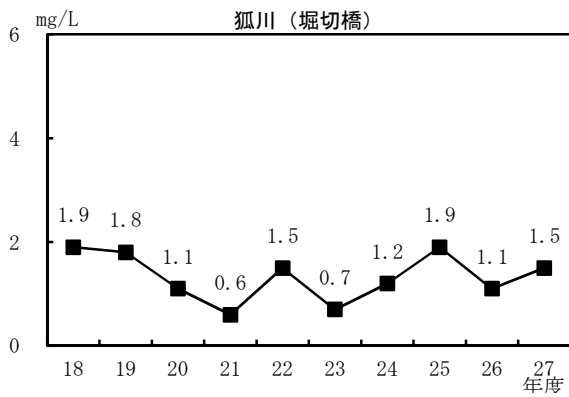


(3) 新袋川 (BOD (年平均値) 単位mg/L)



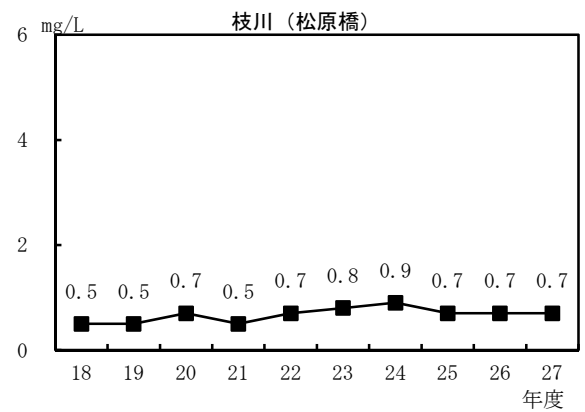
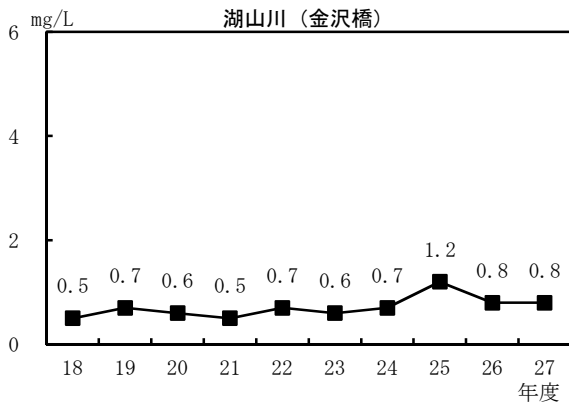
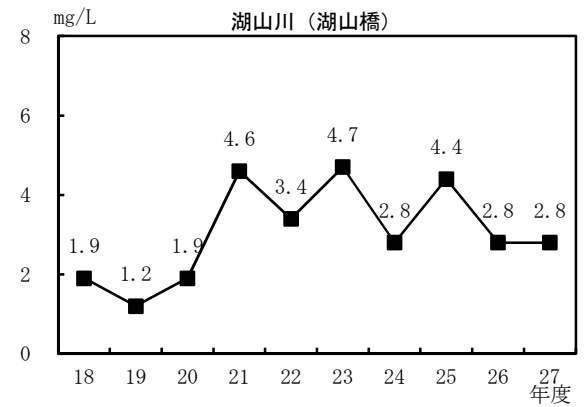
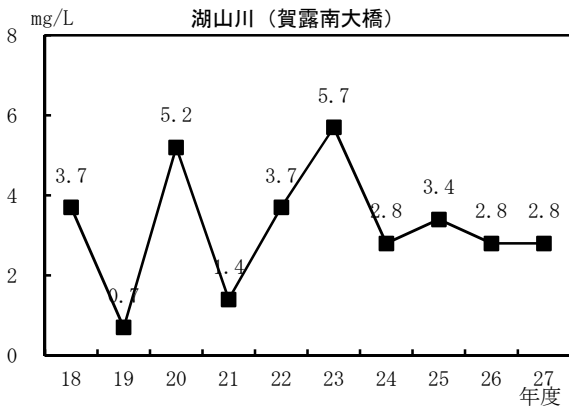
(4) 袋川の流入河川 (BOD (年平均値))

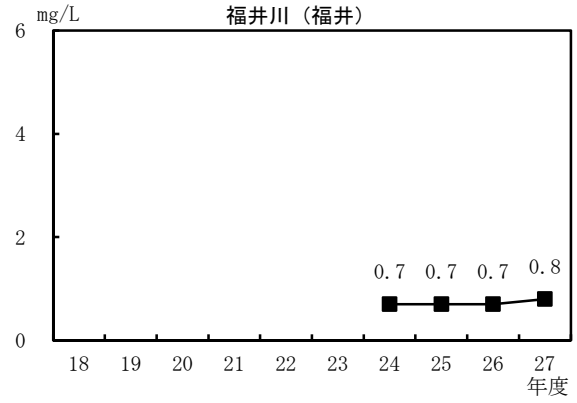
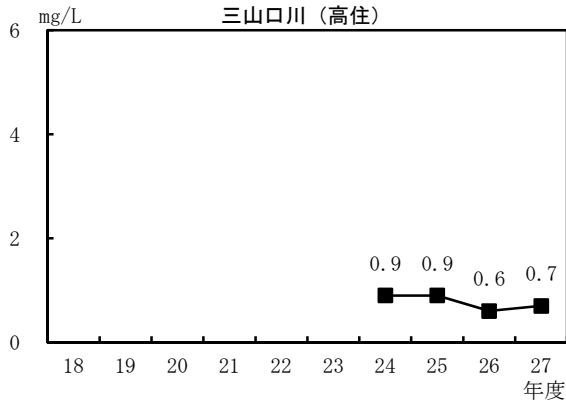
単位mg/L)



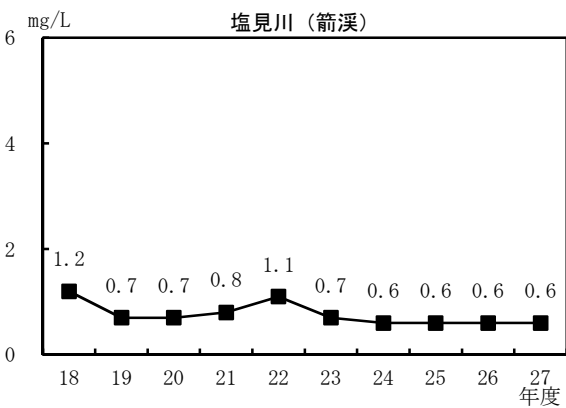
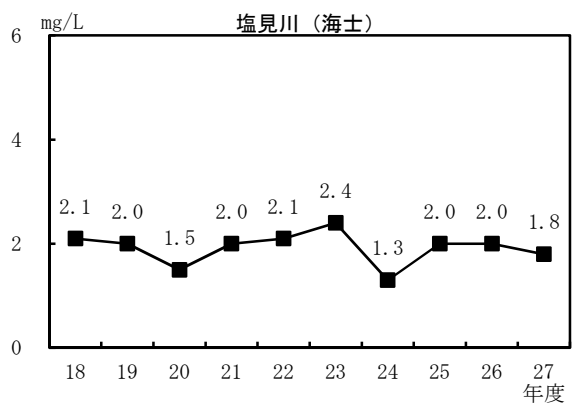
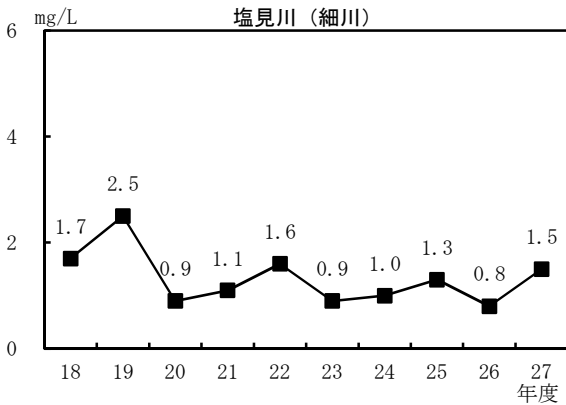
(5) 湖山池流入・流出河川等 (BOD (年平均値))

単位mg/L)

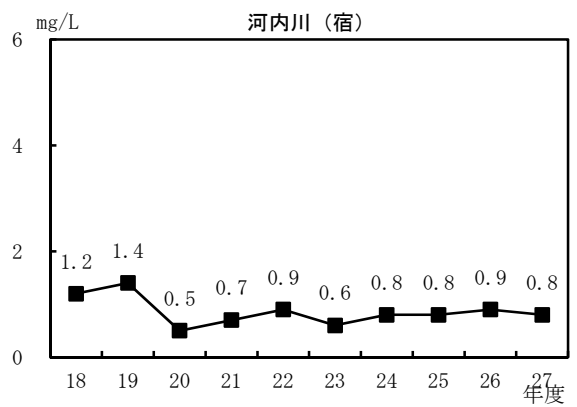
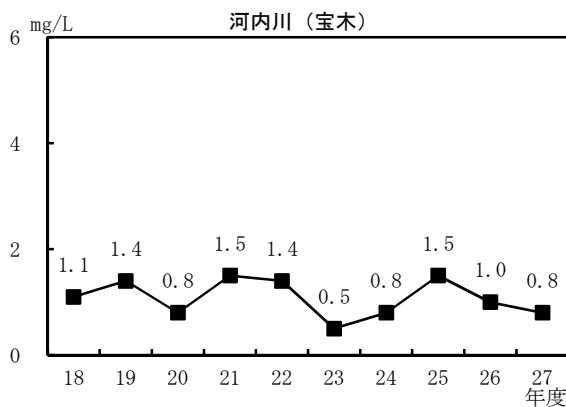


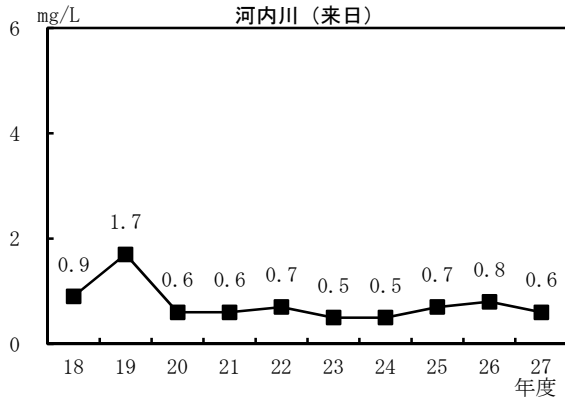


(6) 塩見川 (BOD (年平均値) 単位mg/L)

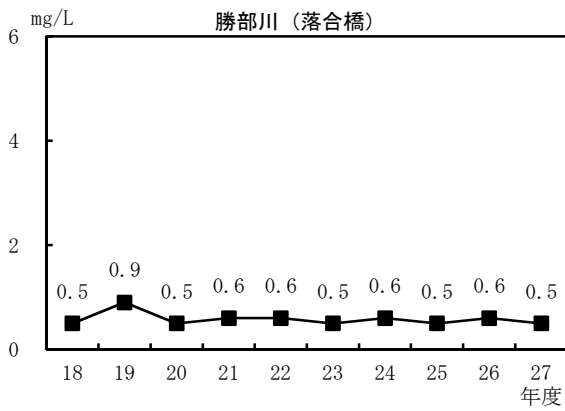
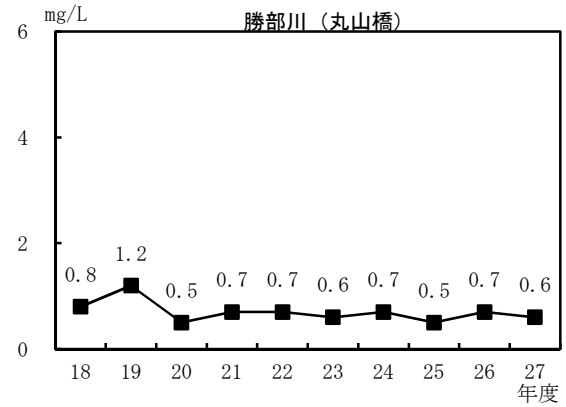
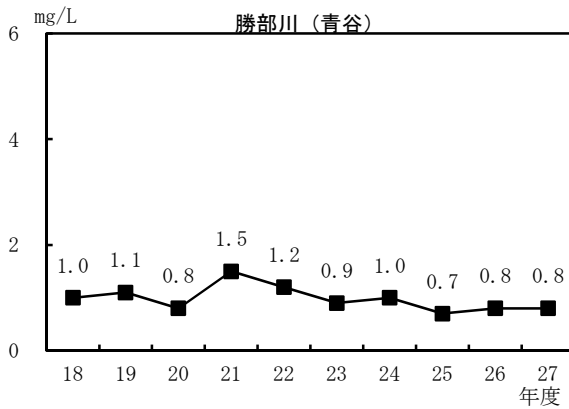


(7) 河内川 (BOD (年平均値) 単位mg/L)

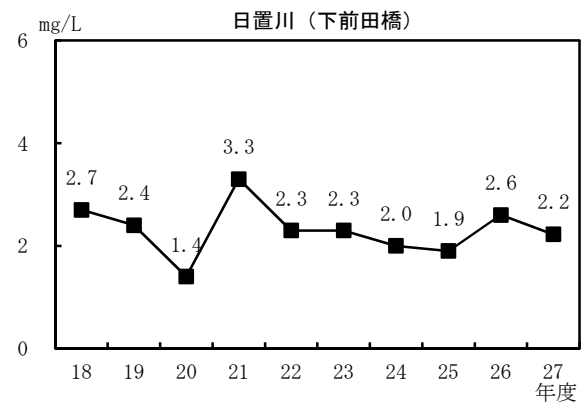
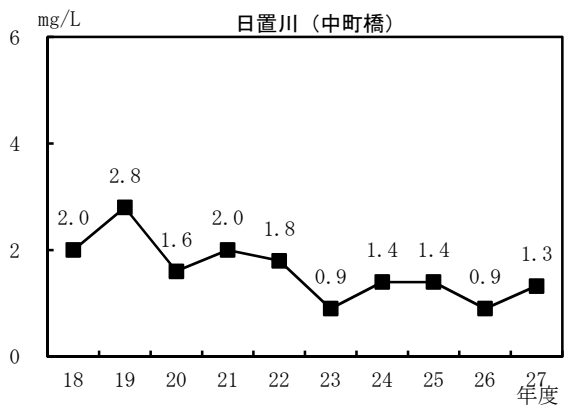




(8) 勝部川 (BOD (年平均値) 単位mg/L)

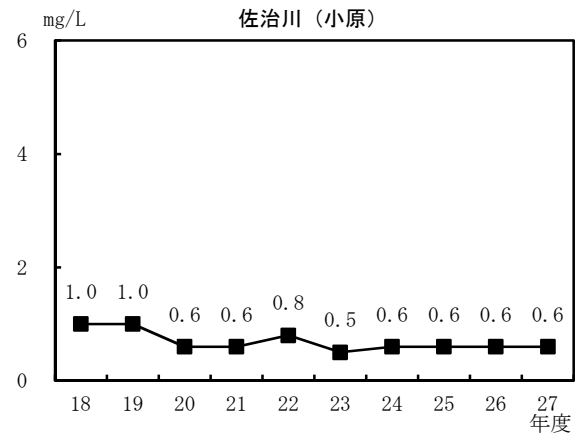
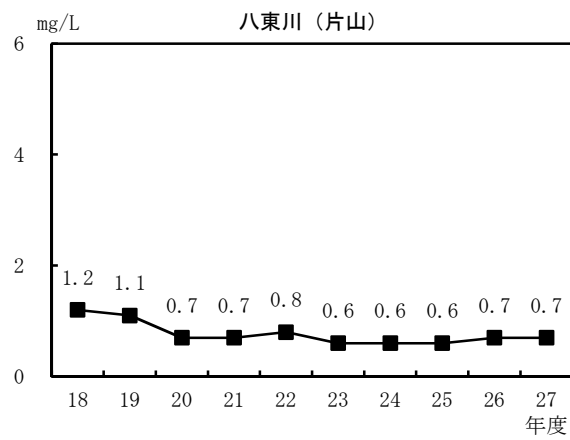
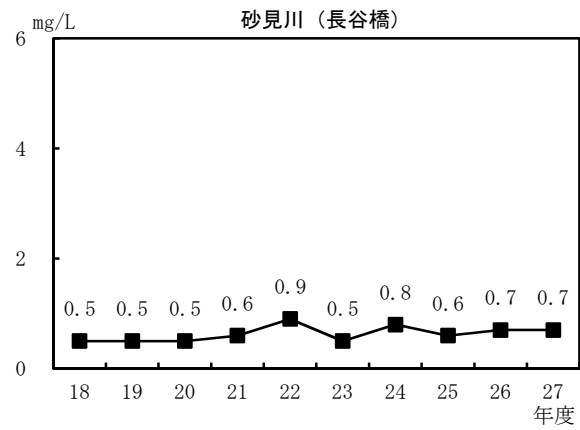
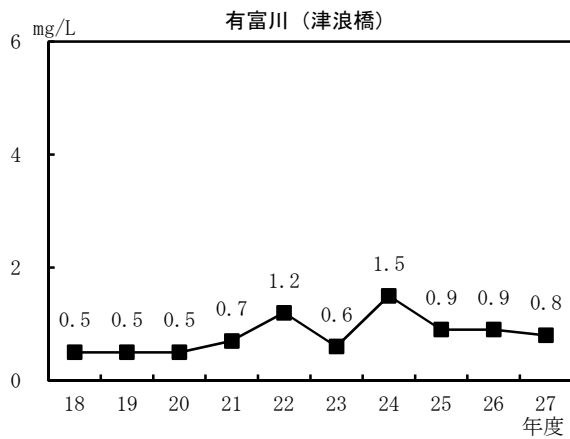
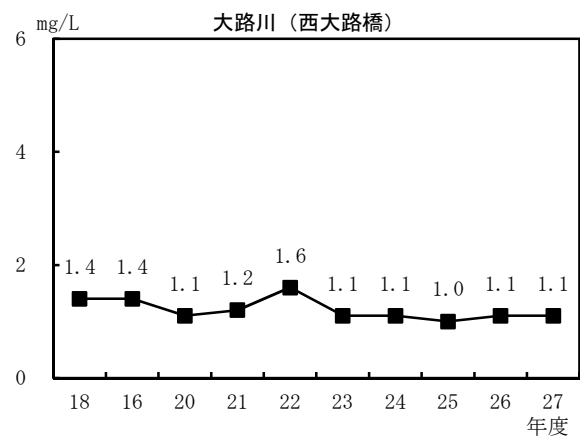
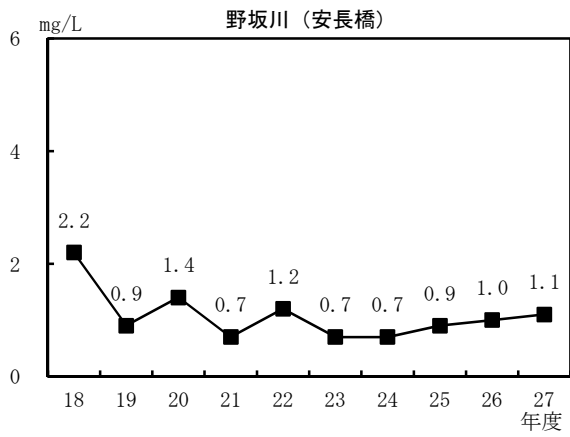


(9) 日置川 (BOD (年平均値) 単位mg/L)



(10) その他の河川 (BOD (年平均値))

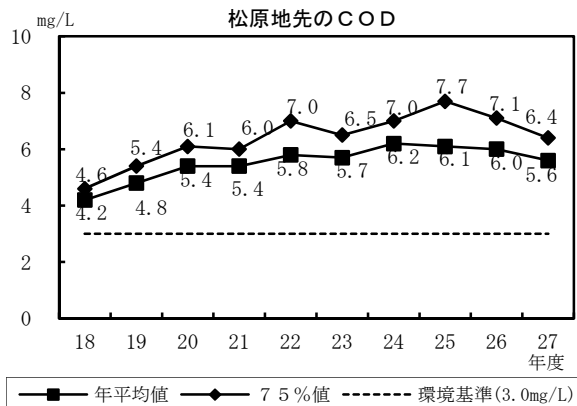
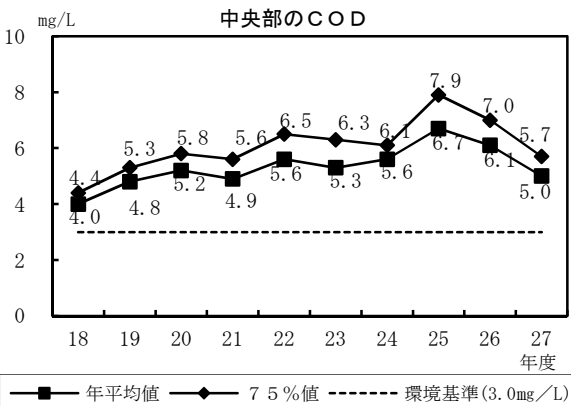
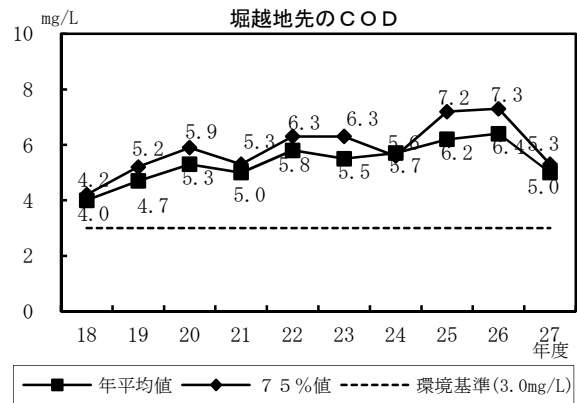
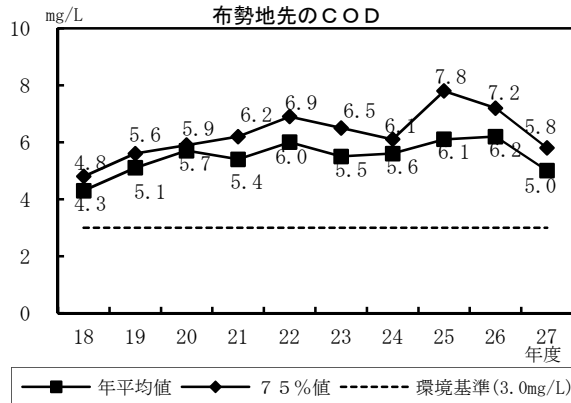
単位mg/L)



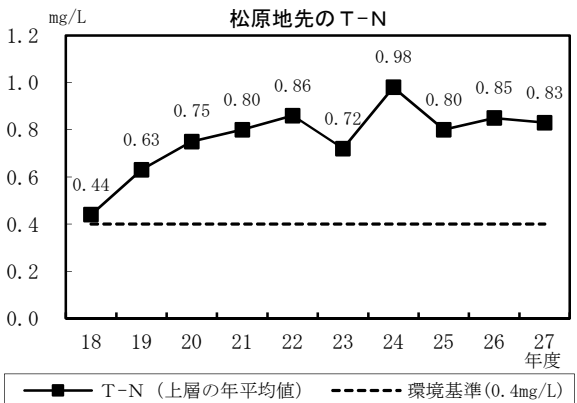
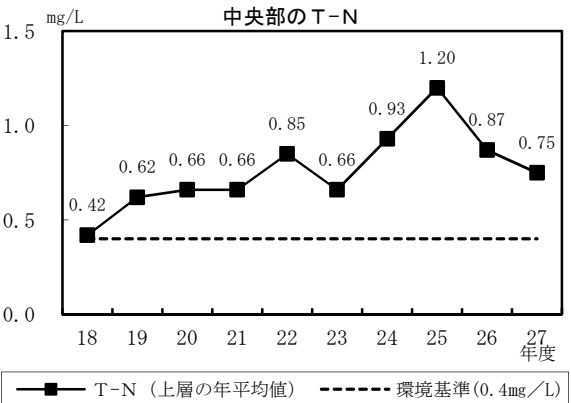
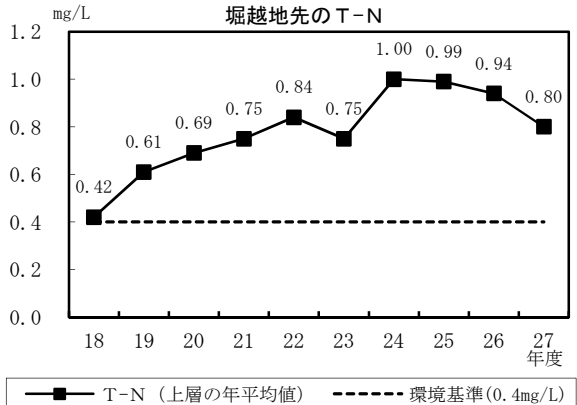
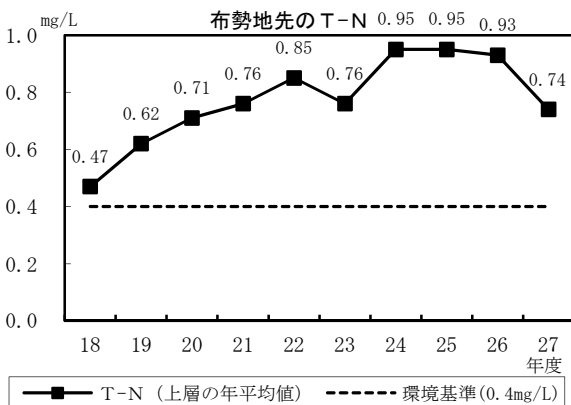
3 湖沼の状況

(1) 湖山池

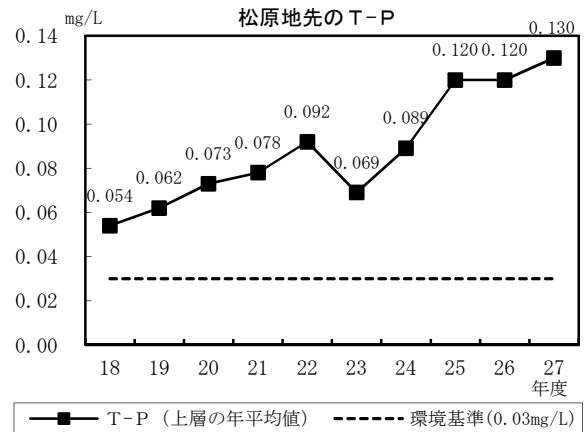
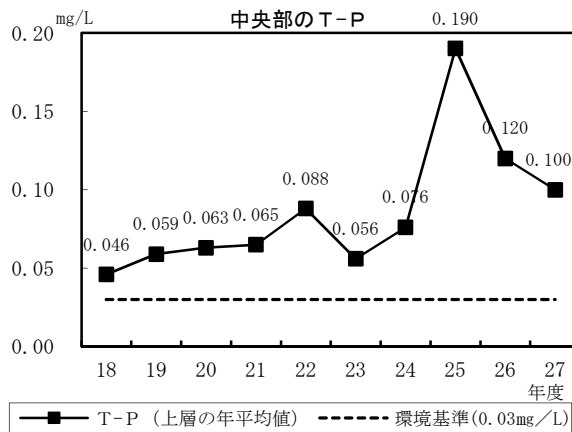
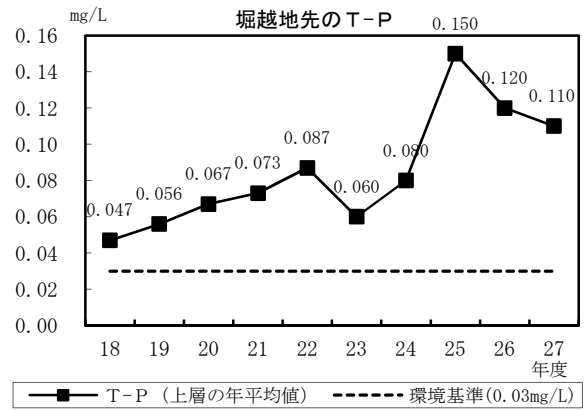
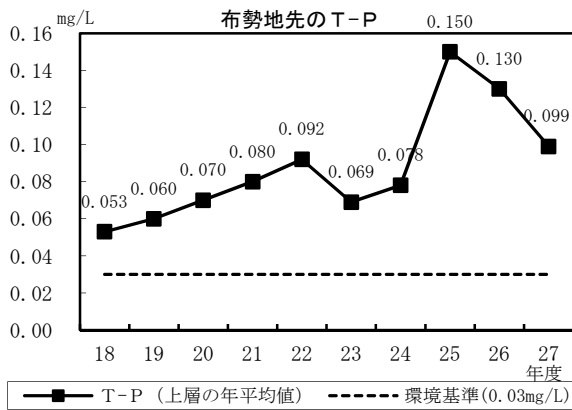
① COD (単位mg/L)



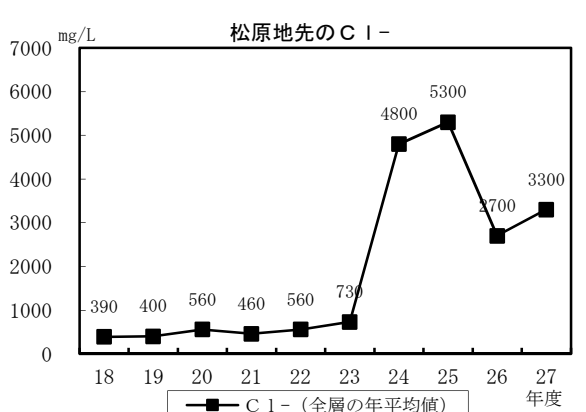
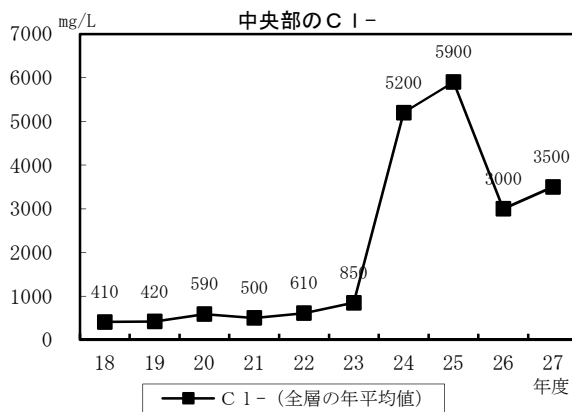
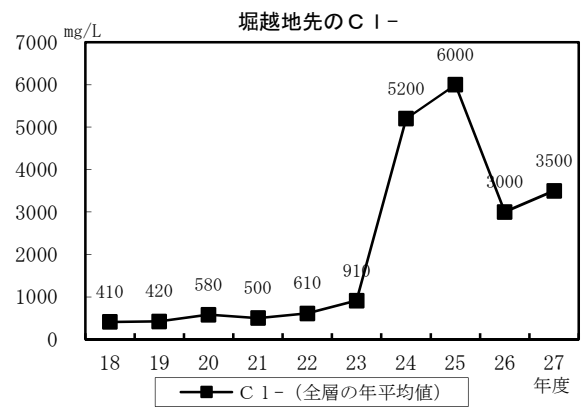
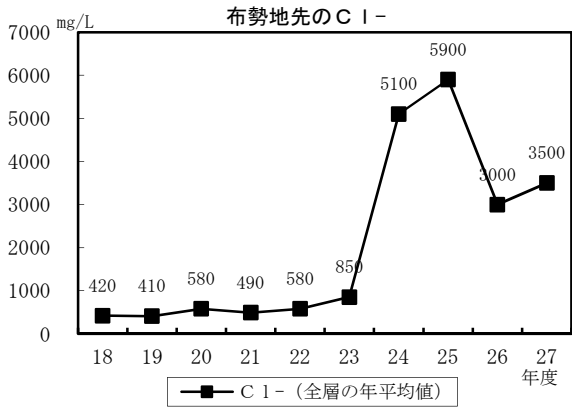
② T-N(全窒素 単位mg/L)



③ T-P(全りん 単位mg/L)

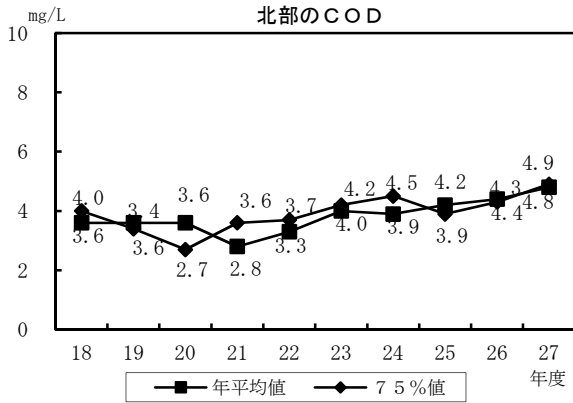
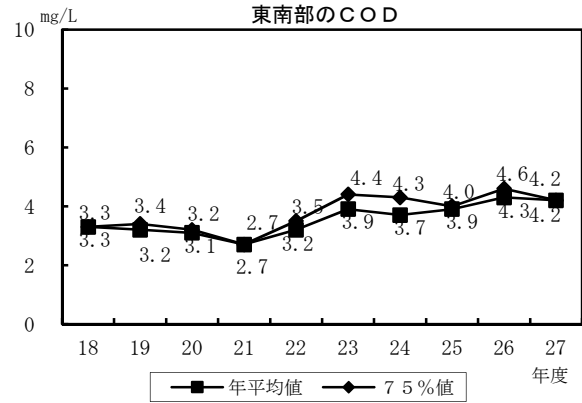
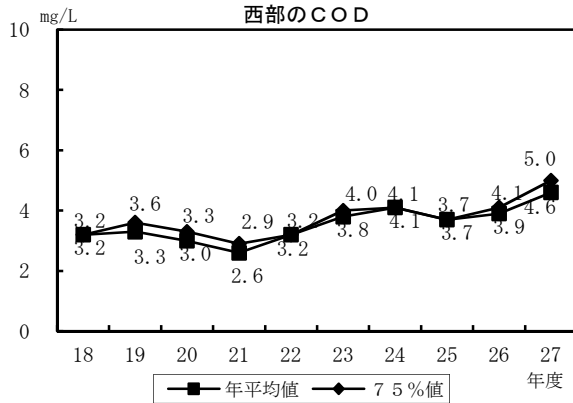


④ Cl-(塩化物イオン 単位mg/L)

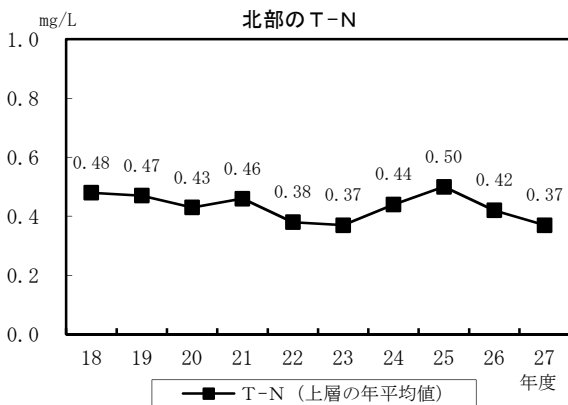
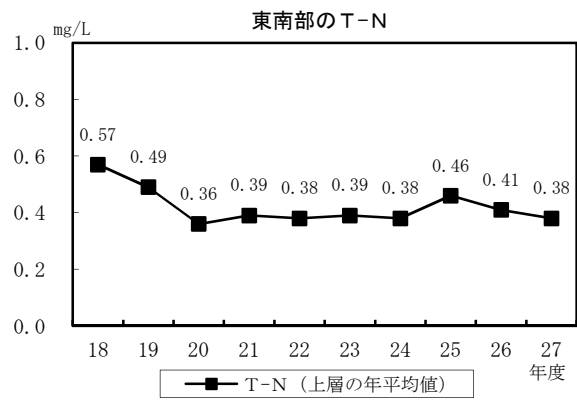
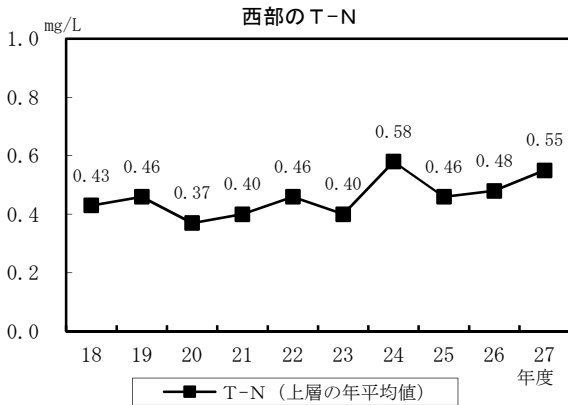


(2) 多鯰ヶ池

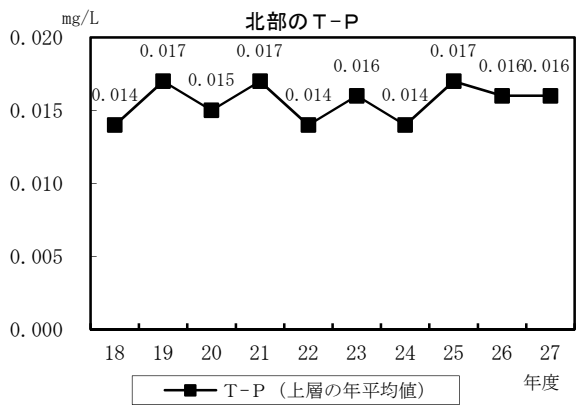
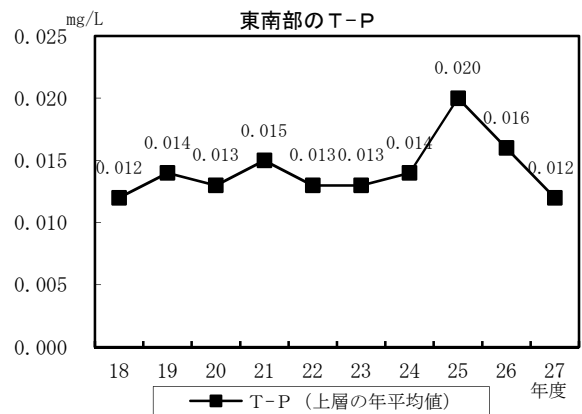
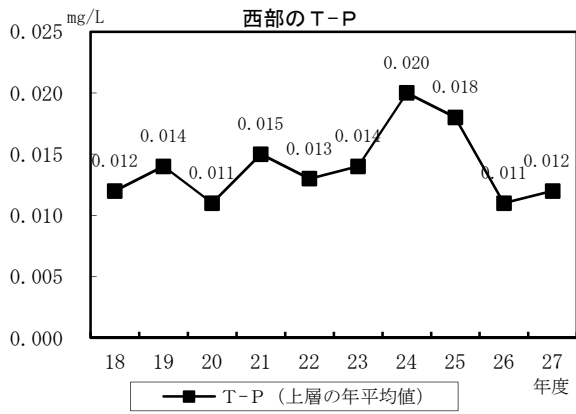
① COD(単位mg/L)



② T-N(全窒素 単位mg/L)



③ T-P(全りん 単位mg/L)



4 大気汚染の状況

(1) 現状

大気汚染に係る環境基準物質は、県が市内の2地点で測定しています。

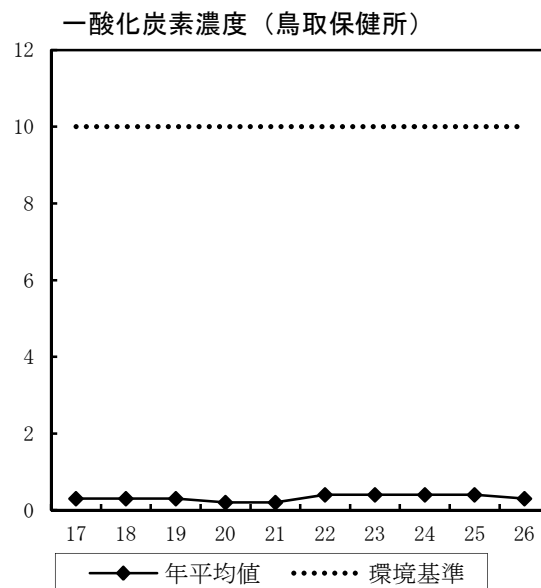
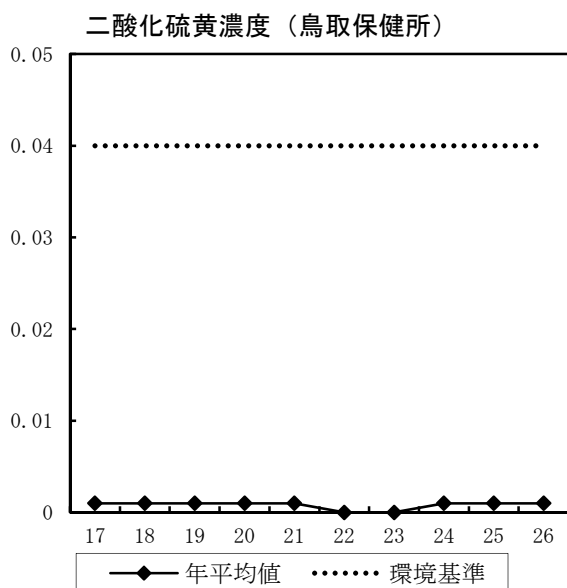
その結果は次のとおりで、二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、二酸化窒素の全てにおいて環境基準に適合していました。

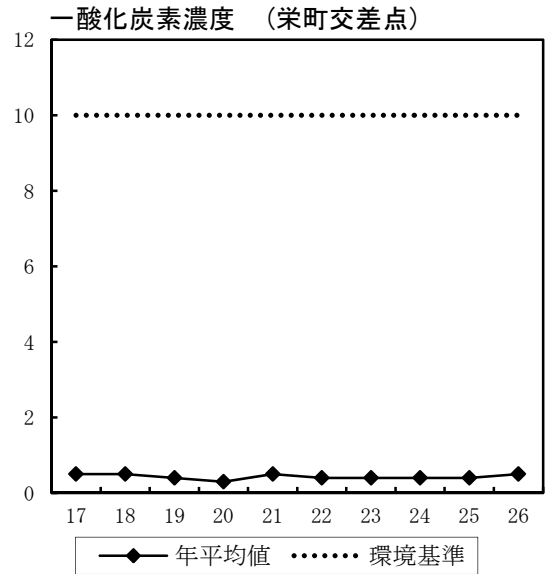
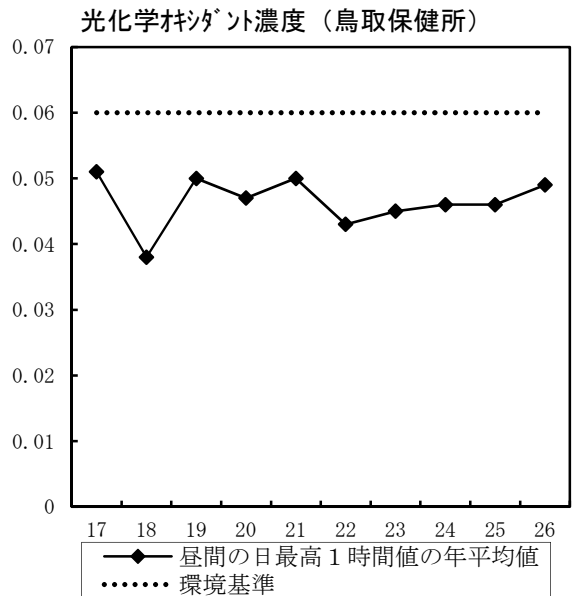
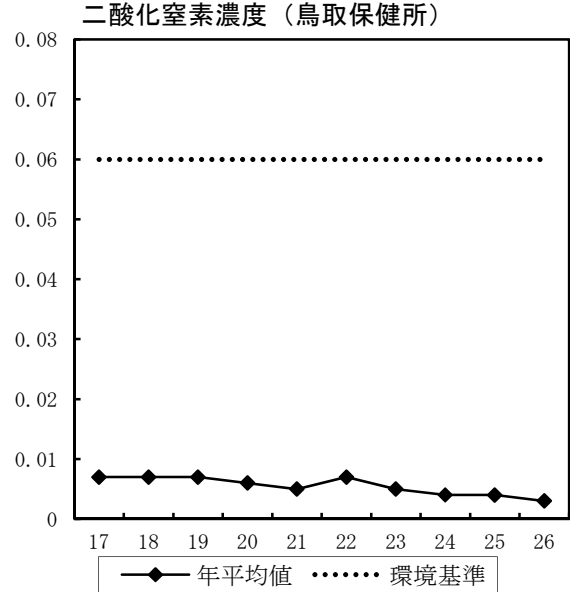
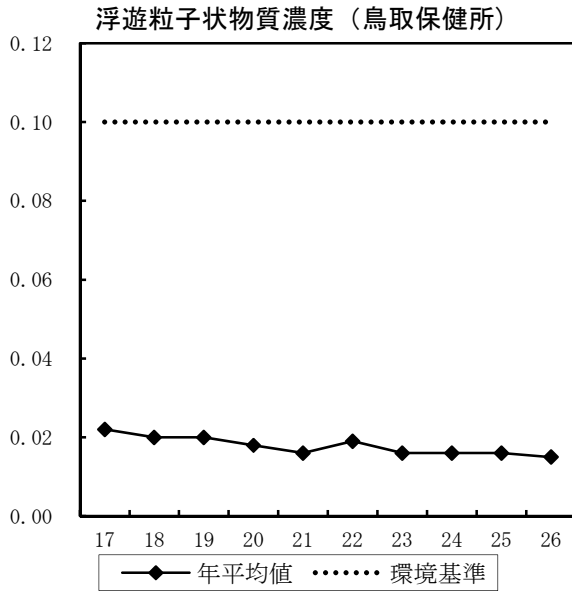
なお、酸性雨モニタリングは、平成23年度以降は若桜町と湯梨浜町にて測定しています。

(2) 大気汚染に係る環境基準

二酸化硫黄	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること
一酸化炭素	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること
浮遊粒子状物質	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること
二酸化窒素	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること
光化学オキシダント	1時間値が0.06ppm以下であること

(3) 経年変化 (単位: ppm)

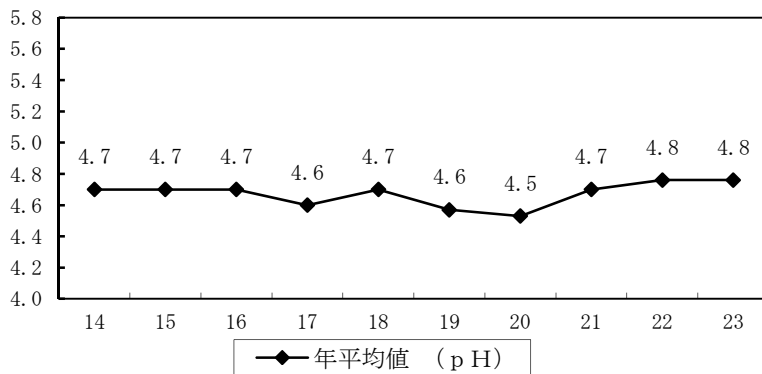




(4) 酸性雨の現状

酸性雨とは、pH（水素イオン濃度）が5.6以下の酸性を有する雨を総称します。

本市の雨の酸性度調査については県が実施（平成14年度～平成23年度）し、結果は次のとおりです。※平成23年度以降は、若桜町と湯梨浜町にて測定しています。



5 騒音の状況

(1) 自動車騒音常時監視

平成27年度は5地点で道路騒音測定を行い、その測定結果と過去に実施した測定結果を元に環境省の面的評価システムを使用して7路線の環境基準達成状況の評価を行いました。

その結果は次のとおりです。

《環境基準達成状況評価結果》

評価路線（区間延長距離） 起点～終点	昼夜とも 基準値以下	昼のみ 基準値以下	夜のみ 基準値以下	昼夜とも 基準値超過
国道29号（5.3km） 宮長～千代水	337戸 99.7%	0戸 0.0%	1戸 0.3%	0戸 0.0%
国道53号線（4.5km） 今町～秋里	1,459戸 98.2%	0戸 0.0%	4戸 0.3%	22戸 1.5%
鳥取鹿野倉吉線（13.8km） 桂見～鹿野町鹿野	411戸 99.5%	0戸 0.0%	1戸 0.2%	1戸 0.2%
鳥取港線（0.5km） 行徳～今町	292戸 99.0%	0戸 0.0%	0戸 0.0%	3戸 1.0%
鳥取河原線（7.2km） 古海～長谷	238戸 100.0%	0戸 0.0%	0戸 0.0%	0戸 0.0%
鳥取福部線（1.6km） 東品治町～吉方温泉	178戸 98.9%	0戸 0.0%	0戸 0.0%	2戸 1.1%
伏野覚寺線（3.5km） 伏野～湖山町北	581戸 100.0%	0戸 0.0%	2戸 0.3%	6戸 1.0%
全体（36.4km）	3,496戸 98.8%	0戸 0.0%	8戸 0.2%	34戸 1.0%

時間の区分 昼間 : 午前6時 ～ 午後10時

夜間 : 午後10時 ～ 翌日の午前6時

対象範囲 原則として道路端から50mの範囲

(2) 規制状況

① 工場・事業場騒音対策

本市には、騒音規制法及び鳥取県公害防止条例に基づく規制基準等が定められています。
 なお、規制区域及び規制基準は次のとおりです。

【規制区域と規制基準】

区 域	時 間				都市計画法に基づく用途地 域
	昼間 午前8時～ 午後7時	朝 ・ 夕		夜間 午後10時～ 翌日午前6時	
		朝 午前6時～ 午前8時	夕 午後7時～ 午後10時		
第1種区域	50 デシベル	45 デシベル		45 デシベル	第1種低層住宅専用地域 第2種低層住宅専用地域
第2種区域	60 デシベル	50 デシベル		45 デシベル	第1種中高層住宅専用地域
					第2種中高層住宅専用地域
					第1種住居地域
					第2種住居地域
第3種区域	65 デシベル	65 デシベル		50 デシベル	準住居地域
					近隣商業地域
					商業地域
第4種区域	70 デシベル	70 デシベル		65 デシベル	準工業地域 工業地域

(平成17年9月30日鳥取市告示第324号)

※規制値は特定工場等の敷地の境界線上における大きさ。

【鳥取県公害防止条例による深夜騒音の規制基準】

区 域	時 間		都市計画法に基づく 用途地域
	午後10時～翌日午前6時		
第1種区域	45 デシベル		第1種低層住宅専用地域
第2種区域			第2種低層住宅専用地域
			第1種中高層住宅専用地域
			第2種中高層住宅専用地域
			第1種住居地域
第3種区域			50 デシベル
	準住居地域		
	近隣商業地域		
第4種区域	65 デシベル	商業地域	
		準工業地域	
	45 デシベル	工業地域	
	45 デシベル	工業専用地域、臨港地区内の 分区及び工業のための埋め立 て地以外の地域	

② 特定建設作業騒音対策

特定建設作業の規制区域及び規制基準は次のとおりです。

【特定建設作業に対する規制】

規制内容 作業内容（概要）	基準値	作業禁止の時間帯		作業時間制限		連続作業日数		作業禁止日
	敷地境界線	1号区域	2号区域	1号区域	2号区域	1号区域	2号区域	
① くい打機、くい抜機 又は くい打くい抜機	85 デシベル	午後7時 から 翌日午前 7時	午後10時 から 翌日午前 6時	1日 10時間	1日 14時間	6日間以内	日曜日 その他の休日	
② びょう打機								
③ さく岩機								
④ 空気圧縮機								
⑤ コンクリートプラント 又は アスファルトプラント								
⑥ 土木機械（ブルドーザー バックホウ、トラクター ショベル）								
適用除外	災害・非常事態・生命の危険防止等							

(注) 1号区域 … 第1種区域、第2種区域、第3種区域、及び第4種区域にある学校、病院等の敷地の周囲おおむね80メートルの区域
2号区域 … 上記以外の第4種区域

③ 自動車騒音対策

自動車騒音が一定の限度を超えていることにより、道路周辺の生活環境が著しく損なわれていると市長が認めるときは、県公安委員会に対して必要な措置の要請のほか、道路管理者に対して道路構造の改善に関し意見を述べるができることになっています。

6 振動の状況
 (1) 振動の現状

(2) 規制状況

① 工場・事業場振動対策

	測定結果		測定結果の概要
	振動値	評価	
	単位	評価	
	*\$))	
	*)	*\$	

% ' S ' &%

② 特定建設作業振動対策

測定対象	測定結果		測定結果の概要		測定結果の概要
	振動値	評価	振動値	評価	
	+)	%\$	%\$	%	

fl L , \$

③ 自動車振動対策